

## Poema de Fernán González III

Translated by OTA Tsuyomasa

### Abstract

Fernán González, son of Gonzalo Fernández, count of Arlanza and the Duero, was born in the first years of the ninth century near Burgos and died in 970.

This legendary count of Castile grew up in the castle of Lara.

Defying Ramiro II of Leon and Sancho II of Navarre and fighting Muslims in the midst of Reconquista, he established, despite being imprisoned twice, the foundations for an independent Castile, which, during his time, was only a frontier of the kingdom of Leon.

He died after living a turbulent life, and his remains were buried in the monastery of San Pedro de Arlanza, which he himself had founded.

The poem of Fernán González was written between 1250 and 1271 in the erudite form of *cuaderna vía* (four-fold way). Its style has been called *mester de clerecía* (scholars' art) as compared with *mester de juglaría* (minstrels' art).

This time translation is made from strophe 405 to the 605.

## フェルナン・ゴンサレスの歌 III

太田強正 訳

フェルナン・ゴンサレス (Fernán González) はスペイン北部ブルゴス (Burgos) にほど近いララ (Lara) の有力者の家に 10 世紀の初め頃生まれ、幼少期をララの城で過ごした。時はアラブに占領された国土の再征服 (Reconquista) の時代で、レオン (León) 王国の辺境にあったカスティリヤ (Castilla) 地方に生を受けたフェルナン・ゴンサレスは伯爵として後に世界に号令することになる大帝国スペインの母体となるカスティリヤ伯爵領の基礎を築いた人物である。

因みにカスティリヤとはアラブとの前線で城 (castillo) の多くある地方の意である。

数々の伝説に彩られた英雄である伯爵は非常に抜け目のない人物であったようで、レオン王国の混乱とアラブに対する勝利に利を得てカスティリヤを独立に導いた。

しかしレオン王国のラミロ (Ramiro) 二世やナバラ王国のサンチョ (Sancho) 二世などと対立し二度の投獄の憂き目にあっている。

この叙事詩は伯爵自身が建立したサン・ペドロ・デ・アルランサ (San Pedro de Arlanza) 修道院の無名の修道士によって 13 世紀後半に書かれたものと言われ、史実と異なる箇所が (例えば伯爵はコルドバ (Córdoba) のカリフ王国 (後ウマイヤ王朝) の実質的独裁者アルマンソル (Almanzor) と戦ったことになっているが時がずれていて合わず、実際は戦ったのはアブデラマン (Abderramán) 三世であった) 数々ある。

作品はメステル・デ・クレレシーア (mester de clerecía) と呼ばれるもので、中世スペインの主に聖職者による教養階級の文学の流派のものである。これは文字の読み書きのできない吟遊詩人 (jugulares) によるメステル・デ・フグラリア (mester de juglaría) と対をなすものである。

形式はクアデルナ・ビーア (cuaderna vía) と呼ばれる 1 行 14 音節同音韻 4 行詩である。

訳は言葉が違うので韻を踏ませることはできなかったが各行ごとに付けた。そのため日本語として通るように原文にない接続詞などを補わなければならない箇所があった。

翻訳に当たっては現代スペイン語訳の他、英訳を参照した。また部分訳ではあるが日本語訳も参考にした。

今回は第 405 連から第 605 連までを掲載する。

405 夜通し祈り神と話していると

伯爵は非常に心地よい夢を見ました

武器を身につけ横になり

肉体は眠っていましたがこのような夢を見ていました

406 伯爵はまだ眠れなかったのでしょう

サン・ペラヨ修道士が上から現れました

太陽のような布を全身にまとっていました

人はそれ以上美しい物を見たことはありませんでした

407 彼はフェルナンド伯爵を名前で呼び

言いました：《眠っているのですか、起きているのですか、どうして黙っているのですか

目覚めてあなたの道を行きなさい、今日大軍があなたについているのですから

あなたを待っているあなたの民の方に行きなさい

- 408 創造主はあなたが彼に求めた物すべてをお与えになります  
あなたは異教の民々に大量の死者を出すでしょう  
そこであなたは良き仲間の多くを失うでしょう  
しかし全損失をもってしてもあなたは戦場を制するでしょう
- 409 高き創造主はさらにあなたに言います  
あなたは彼の家来で、彼があなたの主人だと  
彼への愛のためあなたは異教の民々と戦うでしょう  
創造主はあなたがアルマンソルと戦いに赴くことを命じています
- 410 私はそこであなたと共にあるでしょう、主がそれを許したのですから  
そこにはサンティアゴと呼ばれる使徒がいるでしょう  
キリストが我々に送り、彼の僕を助けてくれるでしょう  
そのような助けでアルマンソルは阻まれるでしょう
- 411 そこに多くの者が幻のように来るでしょう  
白い鎧を着て、彼らは神の天使たちです  
各々軍旗に十字架を付けているでしょう  
我々を見てモーロ人たちは気力を失うでしょう
- 412 友よ、私は命じられたことをあなたに言いました

私は私をここに送った人たちのもとに行きます》  
美しい天使たちが地上から彼を引き上げました  
二人の天使たちは大いに喜んで彼を天に連れて行きました

- 413 ドン・フェルナンドは大きな恐怖に襲われたように目を覚ましました

《これは一体なんだろう、創造主が私をお助けくださいますように

悪魔が私を過ちに陥れたがっています

キリスト様、私はあなたのものです、主よ、私をお護りください》

- 414 夢で見たことを考えていると

ドン・フェルナンドは彼を呼んでいる大きな声を聞きました

起きてあなたの道を行きなさい、フェルナンド伯爵

アルマンソルがその強力な軍と共にあなたを待ちうけています

- 415 急ぎなさい、あなたの道を行きなさい；そうしないとあなたは私に害を及ぼします

あなたが私を待たせるので、あなたは重大な過ちに陥っています

彼と休戦したり和平を結んだりしてはいけません

あなたの民全体を三つの軍に分けなさい

- 416 あなたは東側から少ない人数で入りなさい

戦いが始まるとあなたははっきりと私を見ることになるでしょう

西側から別の軍に入るように命じなさい

そこにサンティアゴがいるでしょう、これは確かです

417 北側の別の第三の軍で

我々はこの獰猛な獅子の軍を破るでしょう  
そうしたらあなたはサムソンのようにするでしょう  
素手でこの野獣と戦った時の<sup>71)</sup>

418 私はこれ以上話したくありません、起きてあなたの道を行きなさい

この伝言を誰が持ってきたのか知りたいですか  
私はミリヤン<sup>72)</sup> という名で、イエス・キリストが私を遣わしました  
戦いは三日目まで続くでしょう》

419 ドン・フェルナンドがこのことすべてを聞くと

ドン・ミリヤンは天国へ行きました  
そのすぐ後で伯爵は庵に別れを告げ  
出発地のピエドラ・フィータ<sup>73)</sup> に戻りました

420 伯爵が良き仲間のところに戻ると

臣下たちが皆ひどく怒っているのを見つけました  
伯爵をひどく侮辱したので大変なことになりました  
彼をひどく憎んでいました

421 皆非常な不満で憂鬱になっていたのです

伯爵は子供からも大人からも皆んなからひどい目にあいました

《伯爵、あなたは—と彼らは言いました—途方もなく大きな悪行  
を行っています

もし何らかの誤りがあったなら、それは全く当然のことでしょう

422 ちょうど盗みに行く泥棒のように

あなたはたった一人で立ち去ることを好む

我々があなたを探す時には、あなたを見つけられない

このことで我々は何か過ちを犯すことになるでしょう

423 あなたのためにこんなに耐えたために、我々はよりひどくなっ  
ています

お願いですから我々を裏切り者にしないでください

我々の祖先も決してそうなったことはなく

忠実でより良い人たちは世界中にいなかったのですから》

424 彼らが伯爵をひどく侮辱すると

ドン・フェルナンドは彼らに言いました：《どうか聞いてほしい

私のしたすべてのことについて私は後悔していない

あなたたちは私をこのように無能だと思うべきではない

425 私は友達に会いに庵に行きました

彼も私も一緒に喜ぶように

私がそこに着いて彼について知りたいと求めると

彼は他の所にいると知らされました

426 私は友がどのように死んだのか知り

彼が葬られている場所を見せてもらいました  
私はイエス・キリストに頼みました、もし彼が罪を犯したのなら  
大きな慈悲で許してやってほしいと

- 427 私は入り口から入り、そこで祈りを捧げました  
ちょうど神が私に知恵を授け、私の心に入ったように  
この修道士が幻のように私の所に現れました  
《目覚めなさい—と彼は言いました—友よ、今がその時です》
- 428 彼は夢の中で私にそう言いましたが、私は信じようとしませんでした  
私は目が覚めましたが、何も見えませんでした  
私は大きな声が天から降りてくるのを聞きました  
それは私の理解では聖人たちの声でした
- 429 これが声が私に言った言葉です  
《フェルナン・ゴンザレス伯爵、起きてあなたの道を行きなさい  
アフリカとアンダルシアの全勢力を  
あなたはこの三日目に戦場で破るでしょう》
- 430 声は私に言いました、私がひどく遅れて悪いことをした  
その愛のために戦っていたあの王の中の王に対して  
異教の民に対してすぐに向かって行くべきです  
なぜ私は恐れていたのか神が私を助けてくれていたのに
- 431 声は私が話したくないような他のことを言いました



それを全部語るのはとても長くなるでしょう  
しかしあなたたちはすぐにそれを確かめることになるでしょう  
あなたたちがそれを分かるまで私は黙っていきましょう

432 その庵で私は良い忠告を受けました  
神に愛された僕、<sup>しもべ</sup>修道士聖ペラヨヨから  
というのはその助言のおかげでアルマンソルが破れましたから  
私は今彼を探しに行つて、彼が葬られているのを見つけました

433 私が知るに至つたように、あなたたちがそれを知るまで  
私を、だから、信頼できないと思うべきではない  
私はあなたたちを全力で守りたい  
私の失策であなたたちが過ちに陥らないように

434 神と人間から我々には助言が必要です  
それを求めなければ彼らは悪いいたづらを我々にするでしょう  
アルマンソル王は非常に大きな軍を連れてきています  
彼の人生においてこれほどの人数を集めたことはなかったでしょう

435 そこには一人対して千人がいます、このことは我々がよく知っています  
助言を得ることが必要だと言われています  
我々は逃げようとしてもできません  
我々はちょうど魚のように網にからまって横たわっています

- 436 アラゴンとナバラとすべてのポアティエの人々は  
我々が難儀しているのを見ても、守ってはくれないでしょう  
どんな道への出口も与えてくれないでしょう  
我々のすべての隣人は我々に死の不幸を望んでいます
- 437 もし我々の悪行のために破れてたら  
我々の敵は我々に復讐するでしょう  
我々は捕らえられ、飢えて難儀するでしょう  
そして我々の息子たちはモーロ人の虜になるでしょう
- 438 我々がかくも愛する息子たちや娘たちが  
虜になったのを見ることになり、我々は助けることができないで  
しょう  
我々は命じられるところに強制されて行き  
息子たちや娘たちに決して会えないでしょう
- 439 虜になったものはすべての幸いから見捨てられ  
生きていたくないと何度も言います  
《世界の主よ—と彼は言います—なぜあなたは私を苦しめるので  
すか  
苦難の中に置き去りにして私を生きさせるのですか》
- 440 死は耐えるのは容易なことです  
しかし日々の死は耐えるのに非常につらい  
このような苦難に耐え、このような悲しみを見ることは  
あなたの敵があなたの物を受け継ぐのを見ることは

- 441 不信心者のもとで正にそのようなことが起こっています  
彼らは我々の地を受け継ぎ、力で保持しています  
しかしひっくり返った車輪は起こされ  
彼らは破れ、キリストの信仰が讃えられるでしょう
- 442 運は常に一つの状態に留まることはありません  
ある者はいつも豊かで、他の者は貧しい  
しかし運命はこの二つをすぐに変え  
貧しい者を富ませ、富める者を貧しくします
- 443 創造主は事をこのようにすることを望まれる  
与えるも奪うも彼がすることです  
彼がすべての者より優れているのだから  
敗れる者が勝利者となるでしょう
- 444 このような主に我々は願うべきです  
慈悲によって我々を助けてくださるように  
というのは我々が倒れるも起き上がるもすべて彼の内にあるので  
すから  
なぜなら彼なしでは我々は何も成し遂げられないのですから
- 445 友たちよ、私の言うことを良く分かってください  
もし私たちが破れたら、君たちはどうなるだろうか  
君たちは悪者のように死に、土地を失うでしょう  
もし今回倒れれば起き上がれないでしょう

- 446 私自身について私がしようと思うことを君たちに言います  
私は囚われもしないし捕虜にもならないでしょう  
彼らが私を生きのまま捕らえようとしても  
彼らの手に落ちるよりは私は自害しよう
- 447 君たちのうち戦場から逃れ  
あるいは死を恐れて捕らえられる者は皆  
裏切りからそのようなことをすると見なされ  
死ねばユダと共に地獄にあるように》
- 448 伯爵の頑健な民がこれを聞くと  
皆とても急いで口をそろえて言いました  
《ご主人様、あなたのおっしゃることには我々は賛成です  
逃げる者はユダに抱かれて横たわるように》
- 449 伯爵がこう言うと  
—それまでは皆心を硬くしていました—  
騎士も歩兵もとても励まされました  
伯爵はそれらの強者<sup>つわもの</sup>がいかに事を為すべきか伝えました
- 450 伯爵は翌朝には準備を整え  
平原の真ん中に軍が配置されているように  
最初の鐘で皆武装するように命じました  
彼らはあの不信心者たちに野戦を挑もうとしていました
- 451 サラス<sup>74)</sup> 出身のドン・グスティオ・ゴンサレスには

彼と彼の息子たちには前線を命じました  
彼らと共にドン・ベラスコー彼もまたサラスの出でした—を  
というのは彼は死を恐れて道を踏み外すことはないでしょうから

452 ゴンサロ・ディアス<sup>75)</sup>がこの同じ戦線に加わりました  
彼は会議の席では穏やかな善人でした  
しかし戦いにおいては熟していないぶどうのように冷酷でした  
彼を探す者は誰でも彼をたやすく見つけたでしょう

453 伯爵の二人の甥は勇敢かつ軽快で  
—伯爵が彼らをその時騎士にしました—  
彼らは第一に数え上げられるべき人物で  
人食い狼と呼ばれました

454 グスティオ・ゴンサレスが統率しなければならなかった者たち  
—二百人の優れた騎士たちですが—  
伯爵は彼らに一方から入るように命じました  
彼らより優秀な者はいなかったでしょう

455 伯爵は前衛に六千人の歩兵を配しました  
強く軽快な山岳地帯出身の者たちでした  
もし彼らがしかるべく良い装備をしていたら  
三倍のモーロ人にも負けないでしょう

456 この軍勢を全部しっかり準備した状態しておきましょう  
隊長にはこれ以上望むものはないでしょう

どんな軍にもほとんど破られないでしょう  
こうしているうちにすでもう一つの軍が用意されていました

- 457 隊長はビスカヤ人のドン・ロペでした  
りんごには富んでいましたが、パンとぶどう酒は不足してしま  
した<sup>76)</sup>  
その軍にはドン・ライノの息子たちがいました  
そしてドン・マルティノというもう一人の山岳地帯出身の者がい  
ました<sup>77)</sup>

- 458 ブレバの人たちとトレビニョ<sup>78)</sup>の人たちもいました  
彼らは凜々しい心の非常に敏速な騎士でした  
カスティリヤ・ラ・ビエハ出身の非常に善良なるカスティリヤ人  
たちも  
彼らは自らの手で多くの良い事をしました

- 459 そこにはカストロ<sup>79)</sup>から良い仲間が来ていました  
そして彼らと共に山岳地帯の他の者たちも来ていました  
非常に良い装備のアストゥリア<sup>80)</sup>人たちもそこにいました  
彼らは非常に良い武器の使い手で、完璧な策略家でした

- 460 これらの騎士たちは中央の部隊にいました  
彼らは二百人のカスティリヤの精鋭で  
全員翌朝戦場にいました  
それはモーロ人にとっては暗い週でした

- 461 伯爵は異教徒と戦う六千人の歩兵を彼らに与えました  
騎士と歩兵が一つになって突破できるように  
というのは歩兵が道を開き  
騎士が容易な所から入ることになるように
- 462 華々しい戦績のフェルナンド伯爵は  
その日に二十人の従者に武器を持たせました  
この者たちは良き伯爵と共に軍に加えられました  
全部で五十人だけでした<sup>81)</sup>
- 463 ララ地区の人であるルイ・カビアとドン・ヌニョオ<sup>82)</sup>  
また伯爵が住まわせた山岳地帯の人々もそこに来ていました  
それはモーロ人から勝ち取った険しい山の中にありました  
またその日に伯爵が武器を持たせたベラスコ家の人たちもそこに  
来ていました
- 464 三千人の歩兵が来ました、皆優秀な人々でした  
死を恐れて過ちを犯しそうもないからです  
東から探されても  
西まで彼らより優秀な者たちは見つからなかったでしょう
- 465 伯爵は皆にどのように行動すべきか忠告しました  
もし最初の日異教徒に勝てなかったら  
角笛を聞いたら退却して  
皆伯爵の旗のもとに集まるように

- 466 伯爵が用意を整えると  
軍がすっかり用意ができ、兵の配置が決まると  
—各々がよく自分の確かな戦闘位置を知っていました—  
兵士たちは自分の天幕へ、各々自分の寝場所へ帰って行きました
- 467 兵士たちは夕食を取って休みました  
皆満足して神に願いました  
神の聖なる力がそこで彼らを助けてくれるように  
そして戦いに勝つ幸運に恵まれるように
- 468 その夜彼らはものすごい物を見ました  
怒れる蛇が空中を飛んできました  
そのあさましい化け物は非常に大きな叫び声をあげていて  
全身血まみれで深紅のバラのような色をしていました
- 469 それは怪我をしている様子で  
その叫びで天が割れるようでした  
その吐く火が軍を照らして  
彼らを焼こうとしてるのではと皆恐れしました
- 470 それでそれほど勇敢な者は誰もいませんでした  
大きな恐れも抱かず怯えもしないほどの  
そこでは多くの者が気を失って地に倒れました  
民全体が非常に大きな恐れを持ちました
- 471 兵士たちがすでに眠っていた伯爵を起こしました



彼が現れる前に蛇は去っていました  
伯爵は民全体が気が抜けたようになっていてのを見て  
蛇がどのようにやって来たのか尋ねました

472 兵士たちは蛇がどのようにやってきたのか彼にすべて話しました  
傷ついた者のように大声をあげながら  
あの野獣が血に覆われてやって来たことを  
彼らは地に火がつかなかったのを驚いています

473 彼らが見た通り伯爵に告げると  
伯爵は彼らが非常に恐れたこと  
そのような姿形の物は悪魔が作ったもので  
兵士たちを混乱させるためのものだとよく理解しました

474 兵士たちは悪魔がモーロ人たちを助けに来ると思っていました  
なぜなら疑いもなくキリスト教徒たちを怯えさせようと考えていたからです  
キリスト教徒たちが退却せざるを得ないように  
軍の中に火を投げ込みたかったのです

475 良き伯爵は兵士たちを呼び集めるように命じ  
集まると耳を傾けるように命じました  
彼は蛇の意味を説明したいと言い  
すぐに占星術師について語り始めました

476 《モーロ人たちは、君たちがよく知っているように、星に

導かれている

神に導かれてはいない、星に導かれているのだから  
星から彼らは他の新しい創造主を造った  
彼らは星によって驚異の多くを見ていると言っている

- 477 多くの魔法を知っている者が他にもいる  
彼らは魔力によって非常に悪い行いをする  
雲を巻き起こしたり、風を吹かせたり  
悪魔はこう言った考えを彼らに示す

- 478 悪魔は共謀して集まり  
不信心者たちと示し合わせて仲間を作り  
過去の人間のすべての過ちを話し  
皆偽りの不吉な助言をする

- 479 魔法を知っているある卑しむべきモーロ人が  
その悪魔をベビの形にして  
君たちをひどく怯えさせることができるように  
このようなインチキで我々を混乱させようとした

- 480 君たちは賢いのでからよく理解できる  
その悪魔には我々に悪を為す力がないことを  
なぜならキリスト様はその強力な力を取り上げたのだから  
それを信じようとする者たちが狂っているのを見るがよい

- 481 全世界の力は一人にあり

我々は皆その方一人に従うべきである  
なぜならその方は与えそして奪う力あるのだから  
その様な主を我々は恐るべきだ

- 482 この主を棄て、獣を信じる者は  
神の非常に大きな怒りに触れ  
その哀れな魂は過ちの中を歩み  
悪魔がその様な者すべてを導くと私は思う
- 483 今我々が話しているのとは別のことに移ろう  
私たちは働いたので眠る必要がある  
彼らとは明日朝戦場で会おう  
我々が命じた様にすべての者が己の場所について》
- 484 兵士たちは寢所に行き眠り始めました  
鶏たちが羽ばたきを始めると  
皆起きてミサにあずかりに行きました  
神に罪を告白するために
- 485 皆、老いも若きも祈りを唱え  
自分たちが為した悪を皆後悔しました  
聖別された聖体を皆受け  
皆心から神に赦しを乞いました
- 486 こうしているうちに昼になり  
民全員が武器を身につけ

命令された通りに軍が配置されました  
各々自分の示された持ち場をよく知っていました

487 全兵士が直ちに準備が整い  
皆各々の部所からモーロ人たちに向かって行きました  
軍が配置につき、戦闘が交わされ  
双方に多くの死傷者が出ました

488 この忠実な首領フェルナンド伯爵は  
すべての者の中にあつて美しい城の様でした  
彼は敵の正面に大きな入り口を開きました  
彼の盾には多くの投げ槍が刺さっていました

489 対するすべての軍を打ち破り  
彼の行く所すべての人が道を開きました  
彼の攻撃はずっと遠くまで響き渡り  
皆彼の攻撃で大きな勇気をもらいました

490 伯爵は敵軍の中を飢えた獅子の様に歩き回り  
打ち勝つか死ぬかの強い覚悟を持って  
行く所戦場をすべて血に染め  
多くの魂をそこで悪魔に与えました

491 アフリカの王の中の一人はそこでは馬にまたがってしまし  
た  
—他のすべての者の中で巨人に見えました—

彼は伯爵を探していて、伯爵も同じでした  
伯爵を見るや前に立ちはだかりました

492 伯爵は彼が非常に怒ってやって来るのを見ると  
馬に拍車をかけて彼を迎え撃ちました  
両者は槍（の穂先）を下げて攻撃し合いました  
非常な攻撃は塔をも引き裂いたに違いありませんでした

493 両者はお互いひどくやられました  
彼らは重傷を負い、意識がなく  
言葉を交わすこともできないほどひどく負傷していました  
両者ともひどく攻撃し合ったのです

494 フェルナンド伯爵は重傷を負っていましたが  
そのアフリカの王が意識をすっかり回復する前に  
再び伯爵によってひどい傷を負い  
直ちに馬から地面に打ち倒されました

495 そのモーロ人の家臣たちはこれを見ると  
良き伯爵を取り囲み、非常に激しい攻撃を加えました  
その時カスティリヤ人たちは無駄にそこにはいませんでした  
猛攻撃をかけて君主を救助しました

496 カスティリヤの伯爵は彼の恐れられた兵士たち共々  
この時非常に勇敢でした  
伯爵の馬は槍による大きな傷を負っており

脚まで内臓がぶら下がっていました

- 497 伯爵の良き馬は死ぬことになりました  
最悪の事態を避けることはできませんでした  
伯爵は引くことも逃げることもできなかったからです  
伯爵が被った苦悩は言い表すことができませんでした
- 498 伯爵は臣下のそばに立っていました  
胸に盾をかざし、手に剣を持って  
《キリスト様、あなたの聖なるお力が私をお助けくださいますよ  
うに一と彼は言いました一、  
今日カスティリヤがあなたに見放されることがありませんよう  
に》
- 499 モー口人たちが多数、彼をしっかりと取り囲んでいました  
良き伯爵は（馬から降りて）立っていたけれど  
四方に勇者らしく攻撃をかけていました  
彼の良き臣下たちはすぐに彼を助けに入りました
- 500 伯爵が必要としている良馬が一頭彼に与えられました  
彼は神に感謝し、大変喜びました  
《主よ、こんなに大きなお恵みを私は感謝しきれないでしょう  
私の深刻な逆境にかくも良く助けを出してくださったのですから  
》
- 501 私たちは他の王たちよりも立派な伯爵のことを離れることにしま

しょう

彼は（羊の）群れに狼がするようなことをしました

.....  
.....

- 502  他の軍を率いていたグスティオ・ゴンサレスの者たち  
—彼が攻撃するところ大量の血が流れていました  
流れ出る大きな小川のように—  
この勇敢な集団には多数の死者が出ました
- 503  このことすべてにおいてモーロ人たちは無駄には横たわっていませんでした  
歩兵の中からは多くの死者を出しました  
両陣営から多くの男たちが倒れたことを知ってください  
彼らの攻撃で山々が反響しました
- 504  ドン・ディエゴ・ライネス<sup>83)</sup> は二人の兄弟と共に  
他のカスティリヤ人たちと一緒に他の方面から攻撃していて  
異教徒の民々に多くの死者を出していました  
モーロ人もキリスト教徒も皆入り混じって倒れていました
- 505  激戦が一日中続きました  
戦場で勝利するには執拗さが重要でした  
一番良く攻撃した者は幸運だと思っていました  
伯爵はすべての者に対して優位を保っていました

- 506 ドン・フェルナンドは思い切り攻撃をかけ  
異教の民々に多数の死者を出しました  
《私をお助けください—と彼は言いました—哀れみの父なるキリスト様  
今日あなたによってキリスト教世界がほめたたえられますように》
- 507 伯爵は口も歯もホコリだらけでした  
家来たちを励ますために言葉を発することがほとんどできませんでした  
彼は言いました：《臣下たち、同族の者たちよ、この日に立派でありなさい》  
君たち立派な者はこのような日に注意を払うべきだ》
- 508 彼は言いました：《私の忠実な友たちよ、激しく攻撃しなさい  
君たちはアルマンソルに多くのひどい仕打ちを受けた  
彼に復讐するために心してかかれ  
そのために我々がここに来たことを覚えておくように》
- 509 日はすでに沈み、夜になろうとしていました  
モーロ人もキリスト教徒も勝利を手にすることができませんでした  
伯爵はすぐに角笛を鳴らすように命じました  
すると皆旗のもとに集まることになっていました
- 510 聖戦の兵士であるカスティリヤの人々は



モーロ人たちをその寝場所から外に追い出し  
 フェルナンド伯爵とそのすべての臣下は  
 その夜皆無事に寢床につきました

511 伯爵とその兵士たちは寝場所を手に入れ  
 神に求めたような寝所を得ました  
 彼らが必要とした物はすべてそこで見つけました  
 その夜彼らは武具を付けたまま夜を明かしました

512 最初の日彼らは非常に大きな打撃をこうむりました  
 そこで命を落とした人々が天国にありますように  
 . . . . .  
 . . . . .

513 翌朝不信心者たちは  
 武装して戦場にいました  
 非常に大きな声と大きな雄叫びをあげ  
 山や谷は震えているようでした

514 フェルナンド伯爵は屈強な兵士達と共に  
 全員で翌朝ミサにあずかりました  
 最初の鐘がなると皆戦場に赴き  
 軍は平原の真ん中に陣取りました

515 彼らは中止した所から戦闘を始め  
 誉ある使徒《サンティアゴ》<sup>84)</sup>の名を叫びました

敵軍は混乱して戦いが始まりました  
カスティリヤ人達はこの技法をうまく使ってきました

516 伯爵の旗手オルビタ<sup>85)</sup>は軍旗を持っていましたが  
岩でもそれ以上の攻撃には耐えられなかったでしょう  
良キテッリン・ダルデニャ<sup>86)</sup>が軍旗を最高に素晴らしく掲げま  
した  
カルデニャに眠る彼の魂を神が許し給わんことを

517 フェルナンド伯爵は心が挫けることなく  
知恵の主、高貴さの礎である彼は  
倦むことなく異教徒に攻撃をかけていました  
その時彼は言いました：《騎士達よ、乏しい時に熱意が生まれる》

518 蛇よりも獰猛なフェルナンド伯爵は  
暑い日で非常な力を発揮しました  
悪の種を殺し、攻撃し  
不信心者達に多数の死者を出しました

519 伯爵を激しい戦いに残しておきましょう  
彼より優れた武人が生まれたことはありませんでした  
他の者達について言いましょう、彼らにはもう余裕がありません  
でした  
というのはそこでは彼らにとってすべてが倒れるか起き上がるか  
でしたから

- 520 お互い激しく戦いました  
 双方から多くの死者が出たことをお知りおきください  
 夜になり両軍はそこから引き上げていきました  
 彼らはそこに来た目的を何も達成できませんでした
- 521 彼らは空腹で、哀れな状態で天幕に戻りました  
 ひどい日で、とても疲労していました  
 そこには多くの人が、負傷者と、死者がいました  
 彼らは夕食をとり、一晩中武具を付けたまま眠りました
- 522 素晴らしい戦功のフェルナンド伯爵は  
 宵の口に臣下達を呼ぶように命じました  
 すぐに短時間で彼のもとに全員と集まりました  
 あの哀れな状態の兵士達が伯爵の話聞きに行ったのです
- 523 《友達よーと伯爵は言いましたー神によって力を得るように  
 非常な苦難にも気後れしないように  
 .....  
 .....

### 530 まで写本不備

- 531 皆心底戦おうとしていました  
 槍も剣も休む暇がありませんでした  
 兵士達は敵の兜を叩き、剣を砕き  
 つば付き兜に切りつけ、鎧を突き通しました

- 532 若者も老人も皆伯爵に注意を注いでいて  
神の使いのように彼を護っていました  
彼らが《カスティリャ》という叫びを聞くと、皆勇気付きました  
皆その言葉に大きな力を見出しました
- 533 ドン・グスティオ・ゴンサレスは忠実な隊長で  
敵の前線に大きな通路を開きました  
アフリカ勢の一人の王は勇敢な騎士で  
剣の一振でグスティオのつば付き兜の真ん中を突き通しました
- 534 つば付き兜と鎖頭巾と武装用下頭巾  
剣はそれらを易々と切り裂き  
目までも付き通しました  
この攻撃でドン・グスティオは死ぬことになりました
- 535 死んだ場所に彼が一人で横たわっていたのではありませんでした  
彼の仲間である伯爵の甥が  
優秀な騎士であるモーロ人と共にそこで果てました  
モーロ人の中に彼ほど稀なる飛び道具の使い手はそこにはいません  
でした
- 536 他の多くのキリスト教徒もそれ故そこで死にました  
彼らはこのことすべてにおいて無駄ではなかったのです  
異教の民に多くの死者を出したのです  
これを聞いたすべての人はそのことについて長らく語りました

- 537 フェルナンド伯爵に知らせがが届きました  
彼らのうち最良の者たちがどのように死んだかと  
キリスト教徒たちは悲しみ、混乱していました  
もし彼らを助けなければ、彼らは敗れていました
- 538 伯爵がそれを聞くと、その事でひどく悲しみ  
馬に拍車をいれ、早速助けに行くと  
不意ながら戦いが混乱しているのを見ました  
駆けつけなければ、彼らは捕らえられるか死んでいたでしょう
- 539 伯爵は直ちに異教徒の民々に攻撃をかけました  
彼が攻撃を仕掛けた者のうちわずかな者だけが無傷でした  
彼は言いました：《私は伯爵である、カスティヤ人たちよ、勇気  
を出せ  
彼らを激しく攻撃せよ、友たち兄弟たちよ》
- 540 困憊したキリスト教徒たちはこれを見ると  
不運に見舞われていましたが、恐れをすべて失い  
皆君主のために大いに活気付き  
異教徒の軍勢に対して激しく攻撃をかけました
- 541 完璧な心の持ち主であるカスティリヤの伯爵は  
言いました：《攻撃せよ、騎士たちよ、君たちは打ち勝った  
今日逃げた者がどこでパンを見つけるのか私は知らない  
その者は生まれなかった方がよっぽど良かったろう》

- 542 私は知らない、世に伯爵の言う事を聞いた者が  
どうしても彼に悪事を働くなんて  
彼と食事をした者が悪人であるはずがないでしょう  
彼と生きた者は別の人間になっているに違いありません
- 543 グスティオ・ゴンサレスをその時殺した者は  
できたら喜んで伯爵から逃げたでしょう  
もしそうできたら良かったのでしょう  
しかしカスティリヤの君主はその者と向き合って対決しました
- 544 アフリカの大王はうわさ聞くと  
伯爵からは誰も身を守れないと  
できれば、それ故、伯爵から逃げたいと思いました  
しかし伯爵は彼に猶予を与えず、彼を攻撃に出ました
- 545 伯爵は直ちに彼を攻め、彼の盾を割り  
非常に鋭い剣で王の防具を叩き割りました  
アフリカの王は死から身を守ることができず  
馬上から地面に打ち落とされました
- 546 アフリカの者たちはこれに深く悲しみました  
というのは良き伯爵によって皆非常に不幸になっていたからでし  
た  
千人以上の騎兵が伯爵に襲いかかり  
戦いは以前よりも激しく行われました

- 547 カスティリヤの側から優に四十人の死者を出しました  
空の鞍を置いた馬が多数出ました  
伯爵は家来たちに対して非常に不名誉だと感じて  
カスティリヤは疑いなく失われると思いました
- 548 フェルナンド伯爵は非常に苦悩していて  
来るかもかも知れない死の用意をしていました  
天を見上げて創造主に願いました  
あたかも創造主がそばにいるように、このように呼びかけました
- 549 《私はこの戦いに勝つ幸運に恵まれていないので  
逃げられるとしても、逃げたくないし  
これ以上の苦悩も悲しみも見ないで  
私が殺される場所に身を置きましょう
- 550 カスティリヤはバラバラにされて、君主はいなくなるでしょう  
哀れな罪人である私はこの怒りを持って去りましょう  
カスティリヤはモーロ人アルマンソルの虜になるでしょう  
その日を見ないためには死がより良いことです
- 551 主よ、なぜあなたは私たちすべてに強い怒りをお持ちなのですか  
我々の罪のためにスペインを壊さないでください  
我々のせいそれが失われるのは由々しき事でしょう  
良きキリスト教徒にとって類を見ない事でしょうから
- 552 父よ、世界の主よ、そして真のイエス・キリストよ

人々が私に言った事の何もあなたは私に果たさなかった  
あなたは私を助けに来ると約束しました  
私はあなたに叛かないのに、なぜあなたは私に背を向けたのです  
か

- 553 主よ、伯爵があなたに見捨てられているのです  
何かであなたが彼に不満を抱いているために  
主よ、あなたが伯爵領を預かってください  
そうでなければ、それはすぐに完全に滅ぼされるでしょう
- 554 しかし私はこのように見捨てられて死にはしません  
その前にモロ人たちが私にひどい目にあうでしょう  
この困憊した体がまずそうするでしょう  
この世が続く限り、それはいつまでも語り継がれるでしょう
- 555 もしあなたが私に非常なお恵みを下さろうと欲するなら  
私がアルマンソルに近づくことができるように  
彼が生きて私から逃れることができるとは思いません  
私が死ぬことがあったら私自身その仕返しをしようと思います
- 556 ここで死んだ私のすべての臣下は  
この日その主人によって復讐を果たすでしょう  
すべて天国で私と共に  
それで家来に対して大いに伯爵の面目が立つでしょう》
- 557 フェルナンド伯爵は神に泣き言を言い



跪いて創造主に願うと

彼を呼んでいる大きな声を聞きました

《カステイリヤのフェルナンドよ、今日お前の仲間が大勢増える》

- 558 伯爵は誰が自分を呼んでいるのか見るために目を上げると  
聖なる使徒が彼の上の方にいるのを見ました  
騎士の大群を引き連れていて  
皆彼に似て十字架のついた武器を持っていました
- 559 彼らは軍を整えてモーロー人に対峙していました  
—今まで人がこんなに勇敢な人々を見たことはありませんでした—  
モーロ人アルマンソルは全家臣と共に  
直ちに自分たちが強烈にはばまれているのを見ました
- 560 一つの旗印の下こんなに多くの武装した人々を見て  
モーロ人たちは非常に恐れ、ひどく驚かされ  
どこから来たのか不思議に思いました  
彼らを一番悩ませたのは、全員が十字架の印を付けていることで  
した
- 561 アルマンソル王<sup>87)</sup>は言いました：《これはあり得ないことだ  
どこで伯爵にこんなに強い力がついたのでだろう  
私は今日疑いもなく彼を殺すか捕らえるだろう思っていた  
それなのに彼の方がこれらの衆と我々を攻撃することになるだろ  
う》

- 562 疲れていた哀れなキリスト教徒たちは  
気落ちしないで居られませんでした  
その使徒の出現で非常に元気づき  
こんなに勇敢になったことはありませんでした
- 563 彼らは勇気が増し、恐れをすべて失い  
異教の民々に多くの死者を出しました  
アフリカ勢は耐え切れず  
背を向けて戦場から去って行きました
- 564 ドン・フェルナンドが彼らが背を向け  
死の恐怖から戦場を去ったのを見ると  
伯爵のその手の者たちは彼らをひどく苦しめました  
足に拍車、そして鞭を持って
- 565 アルメナール<sup>88)</sup>までモーロ人たちを攻め  
多くの者を捕虜にし、多くの者を殺しました  
一日と二晩絶えず彼らを追い詰め  
それから三日目にファシナスに戻りました
- 566 彼らは重なり合った死者の中を探しました  
—血だらけだったので良く見分けが付きませんでした—  
葬るべき死んだキリスト教徒たちを  
各々をその故郷に運ぶべく
- 567 完璧な善意の人であるフェルナンド伯爵は言いました：

《友たちよ、私には君たちがそうするとは思えない  
君たちが死者を引き受けても何の利するところがない  
君たちは隣人たちに大きなな苦しみをもたらすことになるだろう

- 568 死者が生者の重荷になぜなるのか  
悼んでも誰をも生き返らせることはできないだろう  
ここにふさわしい場所である庵がある  
私はそこに彼らを葬るのが良いと思う
- 569 彼らはこんなに名誉ある場所に葬られることはないだろう  
私自身私の体をそこに頼んである  
私が死んだ時には私をそこに運ぶよう命じる  
私はそこをとて名誉ある場所にしたい》
- 570 伯爵が彼らに言ったことに全員同意し  
死んだキリスト教徒たちをそちらへ運び  
非常な名誉をもって彼らをそこに葬りました  
埋葬が済むと兵士たちは自分の道に戻りました
- 571 サンチョ・オルドニェス<sup>89)</sup>は良き伯爵に知らせを送りました  
議会を、そして早く開きたい旨の知らせを  
そして王国のすべての人が集められました  
現れなかった彼のためだけに遅れていました
- 572 伯爵は議会に行かなければなりませんでしたが、しかし非常な苦痛  
を持って

王の手に接吻することは大変なことでした  
 《天の神なる主よ、私をお助けください  
 この窮状からカステイリヤを救い出せるように》

573 王とその家来たちは非常に喜んで彼を迎えました  
 皆良き伯爵とともに非常に大きな喜びに包まれ  
 彼の寝所まで皆一緒に行きました  
 入り口の所で皆別れを告げました

574 老いも若きも町を上げて  
 伯爵の到来を心から喜びました  
 女王<sup>90</sup>だけがとても苦しめていました  
 彼に非常に大きな敵意を抱いていたからです

575 この会議には非常に多くの人々出席していました  
 伯爵が到着するとわずかな時間で終了しました  
 というのは良き伯爵が彼らに多くの良き助言を与えたからです  
 あるいは内々に、あるいは公然と

576 ドン・フェルナンドは毛が生え変わったオオタカを連れていまし  
 た  
 カステイリヤにそのような、あるいはもっと良いオオタカはいま  
 せんでした  
 アルマンソルのものだった馬も連れていました  
 それらすべてを王は非常に欲しがっていました

- 577 王はそれらをととも自分のものにしたかったので  
すぐにそれらを買いたいと伯爵に言いました  
—《私は売いません、ご主人様、しかしそれらを取るとお命じく  
ださい  
あなたに売りたくはありませんが、差し上げたい》
- 578 王は伯爵に取り上げはしないとしました  
しかしオオタカと馬は買う  
通貨で千マルク支払うと<sup>91)</sup>  
くれたいなら、オオタカと馬の値段として
- 579 両者合意して取引をし  
決まった日に支払いをすることにしました  
もしその日に支払われなければ  
日々いつまでも倍々になっていくことになりました
- 580 ABC 項目の書面を作り  
すべての契約事項をそこに書きました<sup>92)</sup>  
書面の末尾に証人たちの名を書きました  
この契約に立ち会ったすべての証人の
- 581 しっかりと王は良馬を手に入れました  
しかし三年後に契約は王に非常に高くつきました<sup>93)</sup>  
フランスの富をもってしても決して払えなかったでしょう  
それで王は伯爵領カステイリヤを失いました

- 582 全会議が解散して分散し  
カスティリヤの人々は皆去り  
王の家来がすべてが丁寧に見送りを受けた  
彼らは出身地に帰って行きました
- 583 伯爵が出発する前に、誇り高い夫人  
サンチョ王の姉妹であるレオンの女王が  
良き伯爵に約束しました 一虚しい約束でした：  
羊毛を求めに行った羊に起こったようなことが起こったので  
す<sup>94)</sup> —
- 584 悪魔が素早くうごいて彼に奸計を示しました  
女王が伯爵に縁談を約束したのです  
戦争が終わるように彼に姪を与えると  
この方策がなければ大打撃を被るだろうと
- 585 それで良き伯爵は自分はちゃんと結婚するものだと思い  
喜んでそうすると女王に承諾しました  
女王は直ちにナバラに知らせを送りました  
ウソを書いた手紙でした
- 586 これがその手紙の文章です  
《私ドニャ・テレサから、あなたガルシア王<sup>95)</sup>へ  
私は非常に愛していたあなたの父である王を失いました  
もし私があなたのような王であつたら、すでに彼の復讐をしてい  
たでしょう

- 587 今あなたには私の兄の復讐をするチャンスがあります  
この奸計によってあなたは彼を手に取りめられるでしょう  
あなたにはあの屈強な伯爵に十分な権利があるでしょう  
あの強力なカスティヤ人を生かしておかないでください》
- 588 この結婚について人々が聞いた時  
皆これは非常に良い縁だと思いました  
平和への道と土台になるだろうと  
しかし腹黒い悪魔は別のたくらみをしていました
- 589 落ち合う場所が決められました  
双方シルエニヤ<sup>96)</sup>が良いと思い  
各々の側から五人の騎士を連れて行のが良いと思いました  
良いと思うことを話し決めることにしました
- 590 フェルナン・ゴンサレスは五人の家来を連れて行きました  
皆筋の通った者たちで、立派な小郷士でした  
非常に由緒正しい家柄で、勇敢な男たちで  
皆同じ土地の出身で、同じ心を持っていました
- 591 命令されたようにシルエニヤに向かいました  
カスティリヤの伯爵はたった五人の家来と共に行きました  
王とナバラ人たちは取り決めに破り  
五人の代わり三十人以上を連れて来ました
- 592 ドン・フェルナンドは王が武装して来るのを見ると

取り決めが破られたのが分かりました  
《聖マリア様、私をお助けください、私は裏切られてここにいる  
のですから  
言葉を信じて、私自身が売られました》

- 593 伯爵はあたかも雷のような大声をあげて  
言いました：《今や世界が壊れるに違いない  
王が犯したこのような大きな罪によって  
私はあの修道士が私に言ったようになった》
- 594 自分の悪運を自分の所為にして  
盾も槍も取ることができませんでした  
彼はある庵に逃げ、そこが彼の避難所になり  
朝から晩までそこに留まりました
- 595 彼の盾持ちが忠実に行動し  
切妻壁の真ん中に窓を見ると  
彼はその庵にやって来て入り口から入り  
彼らに剣を投げてやりました、ほかの事が出来なかったのです
- 596 伯爵と行動を共にしたこれらの盾持ちは  
主人を助けることが出来なかった時に  
皆素早く馬で立ち去り  
直ちにこの知らせを持ってカスティリヤに行きました
- 597 その教会はガルシア王によってすっかり包囲されました



王は神聖な建物であっても残しておこうとは思いませんでした  
しかし王が望んだことは何も達成されませんでした  
伯爵が扉をしっかり閉めていたからです

598 日はすでに傾いていて沈もうとしていました  
ガルシア王は伯爵に尋ねるように命じました  
従属の誓いを立てて捕囚を望むのかどうか  
こうすれば死を逃れることができるだろうから

599 伯爵は誓いを立てて捕虜になりました  
このような不条理なことが神をひどく失望させました  
人々は七面鳥の声のような叫び声を聞き  
祭壇が上から下まで裂けました<sup>97)</sup>

600 このようにして今日教会が引き裂かれています  
なぜならそのような事がそこで起ったからです  
私はそれが世の終わりまで続くと思えます  
隠しておける出来事ではなかったからです

601 直ちにドン・フェルナンドは鎖に繋がれ  
大きな苦悩から気を失いました  
少しすると意識を回復して  
言いました：《世界の主よ、なぜ私を見捨てたのですか<sup>98)</sup>》

602 主なる神よ、もし私の幸福を  
そしてナバラ人たちが私がしっかる武装しているのを見たことを

お望みなら

私はこれをあなたのお恵みでありご意志だと思うでしょう  
しかし私はこのようにあなたに見捨てられたと思っています

- 603 もしあなたが地上にいたら、私から責められるでしょう  
あなたから見捨てられるようなことは私は決してしませんでした  
私は不運な人間として悪い死に方をするでしょう  
もし私があなたを苦しめるようなことをしたなら、あなたはちゃんと復讐すべきです》

- 604 人々は良き伯爵をカストロ・ピエホに閉じ込め<sup>99)</sup>  
彼に強い怒りを抱き、ひどい扱いをしました  
節度を知らない人間たちで彼を容赦しませんでした  
伯爵の臣下たちは彼を放っておけませんでした

- 605 伯爵はガリシア王に自分の言い分を述べました：  
《あなたには誰をも投獄しておく理由がない  
私一人を捕らえておけばブルゴスにいるすべての人間を捕らえた  
ことになるだろう  
彼らに罪はないのだからどんな危害も加えてはならない》

## 注

- 71) 旧約聖書士師記 14 : 5-6a  
72) San Millán de la Cogolla 修道院を建てたと言われる聖アエミリアーヌス (Sanctus Aemilianus) のこと  
73) Piedrafita スペイン北西部にある町  
74) Santo Domingo de Silos の近く

- 75) 当時のありふれた名で誰だか特定できないようである
- 76) りんごはここでは「勇気」を意味し、当時のパンとぶどう酒の不足に掛けている
- 77) ドン・ロベはビスカヤの君主 Lope Díaz de Haro で、Laino と Martino は不明
- 78) Bureba も Treviño もスペイン北部 Burgos の地区
- 79) Castrojeriz のことでブルゴスの西にある
- 80) スペイン北部ビスケー湾沿いの地方
- 81) 特定できない
- 82) 「従者で武器を持たされたのは全部で五十人だけ」の意か
- 83) カスティリヤの有名な、しかし後の時代の貴族で、el Cid の父
- 84) キリストの十二使徒の一人大ヤコブのことでスペインの守護の聖人、再征服時代「突撃」の号令として用いられた
- 85) 特定できない
- 86) 後世のシャルルマーニュの臣下 Thierry l'Ardennois を引き合いに出していると言われている
- 87) 正確には王ではない
- 88) Almenar de Soria でファシナスの南にある村
- 89) León 王サンチョ 1 世
- 90) フェルナン・ゴンサレスの手によって戦死したナバラ王の姉妹テレサ
- 91) 1 マルクは金か銀 8 オンス、この額は修道院が買えるほど高額であったようである
- 92) 同じ羊皮紙に同じ文言を二回書いた
- 93) つまり支払いが契約通りなされなかった
- 94) 自分ではなく他人の羊の毛を刈ろうとして、自分の羊の毛を刈られてしまう、つまり騙される
- 95) ナバラ王ガルシア・サンチェス 1 世
- 96) スペイン北部 Logroño の村
- 97) 新約聖書マタイ伝 27 : 51、マルコ伝 15 : 38 を思わせる
- 98) 新約聖書マタイ伝 27 : 46、マルコ伝 15 : 34 を思わせる
- 99) Logroño の村

## 参考図書・辞書

- THE POEM OF FERNÁN GONZÁLEZ P. Such and R. Rabone Oxbow BOOKS 2015
- THE POEM OF FERNÁN GONZÁLEZ Edición H. Salvador Martínez Colección Austral 1995
- Diccionario Medieval Español Martín Alonso Universidad Pontificia de Salamanca 1986
- Diccionario de Castellano Antiguo Manuel Gutiérrez Tuñón Editorial Alfospolis 2002

Tentative Dictionary of Medieval Spanish Lloyd A.Kasten and Florian The Hispanic Seminary of  
Medieval Studies New York 2001

Larousse Universal diccionario enciclopédico Librairie Larousse Paris 1968